

「マイナスの歴史も表示を」

佐渡の世界遺産登録
駐日韓国大使が見解

世界文化遺産登録をめ
ざす佐渡金銀山遺跡（佐
渡市）について、尹徳敏
・駐日韓国大使は4日、
訪問先の県庁で報道陣の
取材に応じ、徴用工問題
への取り組みが不十分と

の認識を示した。ユネス
コ（国連教育科学文化機
関）の世界遺産委員会で
の登録の審議が7月に迫
る中、県に対し「互いに
『ウインウイン』にでき
る解決策を探りたい」と
提案したという。

尹大使は同日、花角英
世知事を表敬訪問した。
同委員会での審議を前
に、同問題について、県
側に「協力を求めたい」
と考えたという。会談は
冒頭のみ公開され、終了
後、尹大使は報道陣の質
問に答えた。

同遺跡について、尹大
使は「非常に立派なところ
だ」とし、世界文化遺
産登録について「われわ

れ（韓国政府）は反対し
ていない」と強調した。
一方で、戦時中に朝鮮
半島出身の徴用工が敵し
い環境下で働いていたこ
とに言及し、「マイナス
の歴史もあるわけだか
ら、全体の歴史をそのま

ま表示する必要がある」
として、現状の展示には
不備があると指摘した。
犠牲者の慰霊碑につい
ても「残念ながら欠いて
いる」とし、「そういう
ことがきちんとできれ
ば、登録に大きな支障は

なくなる」と述べた。
花角知事との会談で
は、北朝鮮による拉致問
題にも話が及び、日韓両
国が解決に向けてしっか
り協力することで意見が
一致したという。

（茂木克信）



対談する花角英世知事

（右）と尹徳敏・駐日

韓国大使 4日、県庁